

## SYOSSET CENTRAL SCHOOL DISTRICT

### 倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針 保護者向けに平易な文章で記述した概要

---

#### 保護者向けの概要

本書は、複数の保護者により、保護者向けに、Syosset Central School District の倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針を纏めたものであり、生徒が良き人間関係を構築し、良き市民となり、責任を持って行動するためのサポートをすることを趣旨として規範内容の関係箇所を抜粋したものである。

[The full Code（規定の全文）](#) は、Board of Education – Board Policiesの下にあるDistrictのホームページのリンクを参照のこと。

#### 核となる原則

本地区の倫理規範、行動規範およびサポート内容は、Syosset Board of Education によって採用され、NYS Department of Educationにより義務付けられたものであり、現在の本地区の規定では、生徒全員が、安全で穏便な、配慮とサポートが行き届いた学習環境で教育を受ける権利を保障されている。これは、**全生徒および成人（教師、校長、管理者、職員、コミュニティ全体）が良き市民になるための指針としても用いられ、その目指すところは、生徒が、前向きな行動を見本にし、それを取り入れ、実りのある生活を営む市民になるように指導する義務を果たすことにある。**

基盤として、前向きな校風を作るべく、生徒の規律、サポートに関する方針や実施事項により、生徒に責任のある行動を取らせる一方、物事の修復や解決を図ることに注力する。これは、管理者、職員、生徒および家族との間で信頼関係を育みながら、人に対する配慮、公平性、尊重を視野に入れて実施するものである。それにより、生徒が自らの間違いから学び、自らの行動がもたらす損害を認識させ、それに対して責任を取り、前向きに人との交流を図る知恵を身に付けさせることを狙いとする。

本地区の規律は、前向きに相互に協力し合う関係、成長を促す思考を育む精神を基盤に社会性および情緒の発達を視野に入れ、それを強調すべく、修正された。社会性や情緒の発達は、学業や個人的な目標の達成にも役立つ。これは、生徒が自らの感情を管理する練習をしながら、その管理の仕方を覚え、他人に対する思いやりを示し、堅実な選択をすることを学ぶ場でもある。

責任を持って介入し、修復を図りながら、各々の状況をわきまえて、生徒の行動を正すことの努力をすることがどの場においても重要になる。親には、子供に修復を図る習慣を身に付けさせ、それを狙いとした最善の介入結果を出させる方向に導くことを奨励する。不適切な行動を伴う規律違反が、大きな問題を抱えている生徒の症状として現れた場合、介入することが必要不可欠になる。

本地区の規律は、全生徒の尊厳法（Dignity for All Students Act: DASA）に盛り込まれ、差別やいじめ、嫌がらせを一掃する目的で作られている。

### **権利および責任**

1. 子供の教育が親および学校集団の共同責任であることを認識し、子供が教育を受ける機会を最大限生かす。
2. 参加し、学ぶ姿勢が整った状態で子供を学校に送り出す。
3. 必ず、子供を日常的に定刻通りに、学校に登校させる。備わっているサービスについては、校舎の管理人に問い合わせること。
4. 必ず欠席届をし、承認を得ること。その詳細や定義については、出欠席に関する規則を参照のこと。
5. 服装に関する規律に従って、子供の服装や身だしなみを整えるよう、指導する。
6. 安全かつ秩序立った、お互いに支え合う環境を維持するために、基本的な社会規範が必要であることを子供に理解させる。
7. 学校の規則を学び、子供が安全かつお互いに支え合う環境に貢献できるよう、学校の規則を理解させる。
8. 教育および学校地区に対して、協力的な態度を示すように指導する。
9. 教師、他の親や子供と、前向きで健全な関係を構築する。
10. 仲間からの圧力に効率よく対応すべく、PTAプログラムや学校ホットライン、学校配属の心理学者、教師などを活用させる。
11. 家庭環境の変化により、生徒の行動や能力の発揮に影響が出ると思われる場合、学校関係者に通知する。
12. 勉強できる環境を整え、宿題があることを必ず認識させる。
13. 懸念や不満がある場合は、学校関係者に礼儀正しく、適時に伝える。
14. 全ての対人コミュニケーションにおいて、スタッフ、他の親や保護者、生徒に対し、礼儀と配慮をもって接する。
15. 対人衝突を修復するプロセスに積極的に参加する姿勢を持つ。

### **生徒の行動**

全生徒には、倫理規範、行動規範、サポートに関する方針に沿って行動することが求められている。それにより、学校内やバス、課外活動における差別やいじめ・インターネット上のいじめ、嫌がらせのない、安全かつ相互助け合いの精神をもった学校環境を作ることが求められている。

(学校内での学習環境に支障をきたす可能性のある言動が学校外で見られる場合は、学校の事務局で対応する)

生徒が自らの言動および不正行為がもたらす結果に対する責任を負い、その責任を認めることを学ぶ場でもある。

生徒には、適切に教師やサポートスタッフ、管理人の指示に従い、対人関係において相互に優しさをもって接すること、科学技術を正しく用いることが求められている。こういった要請を満たさない生徒には、相応の処置が施される。生徒には、自らの言動に対して反省すること、今後に向けての具体的な改善策を特定することを求められる。求められている行動や処置についての内容は、倫理規範、行動規範およびサポートに関する方針の全文を参照のこと。

### **学校訪問者**

学校常勤の職員や学校の生徒ではない者は全て、学校の警備員と訪問の予約を入れた上で、訪問者として扱われる。

訪問者が小学校の生徒もしくは職員の一員に物を届ける場合、訪問者は専用のテーブルに物を置き、玄関先の警備員に届け出る。訪問者は、校内に立ち入る必要がある場合、正式な身分証明書を提示し、所定の用紙に氏名を記入しなければならない。

学校の敷地内に許可なく立ち入る者は、全て警備員および校長またはその指定人に通告される。許可なく立ち入る者は退去を求められ、状況により、警察が呼ばれる。

(PTA関係のボランティアを行う場合は、PTAが規定するボランティア活動に関する方針を遵守すること。)

### **言葉の定義**

**成長を促す思考**とは、生徒が粘り強く努力することによって、一層習得することが出来るという考え方。困難や失敗は、学習能力や技能を磨く機会になる。

**「修復を図る」**とは、修復に向けて共存、人間関係の構築、問題解決を図ることをいう。相応の処置を施す代わりに、修復を図ることにより、自らの言動を反省し、それに対して責任を取り、もたらした害を修復することを生徒に奨励するものである。

「修復を目的とした介入」とは、複数の者が修復を目指して学び、対人衝突の解決を図り、対人衝突により影響を受けた者が話し合いにより不正行為を正すことも含む。

「ドラッグ」とは、学校の敷地内において、学校行事の間、運動中、修学旅行の間に違法に薬物を所持、消費し、またはその影響下に置かれ、それにより生理的な変化が発生することをいう。但し、*医者の処方箋付きの規制物質投与は、必ず保健室で行うこと。*

「いじめ」または「嫌がらせ」とは、インターネット上でのいじめを含む一定の言動や脅し、脅迫、虐待などにより有害な環境を作ることであり、次の影響をもたらすものを含む。(a)不当に生徒の学業成果、機会、便益、精神面または肉体的面の健康に甚大な影響を及ぼし、もしくはその恐れが存在し、または(b)生徒が身の安全を恐れるに足る根拠が存在し、もしくは恐れることが想定されるに足る妥当な根拠が存在し、または(c)生徒に肉体的もしくは精神的な被害が及び、もしくは及ぶことが想定されるに足る妥当な根拠が存在し、または(d)学校の敷地外での発生により、学校環境に甚大な混乱が発生し、もしくはその恐れが想定され、学校の敷地内における一定の言動や脅し、脅迫、虐待が予見可能である。「一定の言動や脅し、脅迫、虐待」の定義には、言葉を伴うもしくは無言の言動が含まれるものとする。いじめ行為および嫌がらせ行為は、見た目における人種、肌の色、体重、出身国、民族、宗教、宗教儀礼、障害、性的志向、性別（自認する性別もしくは自己申告する性別を含む）を根拠とするものも含むがそれらに限定されない。